

第二十九回句会 俳句

【高点句】

☆ひと雨に春めく庭の匂ひかな 〈童心〉

☆春めくや大道芸の笛の音 〈眞澄〉

☆春めくや病む父なれど強き父 〈茂〉

☆春暁の道後に響く桶の音 〈茂〉

【各自一句】

■ほろ苦きバレンタインデー義理の枷 〈永二〉

■受験子をとば生き生き叱りをり 〈孝枝〉

・セーラー服ネールアートも春めいて 〈貪愚理〉

・さざ波のときに尖りて冴返る 〈一馬〉

・はしごしてあれこれ試着春めけり 〈安津子〉

・春浅し今日を占う朝日かな 〈青蛙〉

・雑念を放り上げたき春の空 〈千恵〉

・自転車の将棋倒しや春一番 〈撫子〉

・越前の天空の城春めけり 〈茂〉

・春めきて胸元の開き光増す 〈莫院〉

・冬富士や大パノラマに赤ワイン 〈童心〉

・お揃ひの法被並びて野焼かな 〈眞澄〉

・春めくや新居の準備あれやこれ 〈明美〉

*以上、39句（3句ずつ11名＋ご見学2名）より、選句は15名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句（今回は、第1位が同点で2句、第3位も同点で2句）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載）